



聖徒のための情報誌

今月号の内容

法華経の命を継ぐ師弟を育成「沙弥校・僧風林」(1面)
沙弥校・僧風林特集(2面)
青森県道円寺「一日伝道」
日蓮大聖人の歩まれた道
法華経のお話(3面)
宮崎県日向市本光寺聖徒団「初めての盛運祈願会」(4面)

平成26年(2014年)9月1日(月)
9月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗霊断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会

会長 末吉 観道
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 100円(税別)
毎月1回1日発行
日蓮宗霊断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

法華経の命を継ぐ師弟を育成
第三十回沙弥校
第十六回僧風林



日蓮宗霊断師会 聖徒部長
島根県益田市
妙法寺聖徒団团长

蔵本 知宏 校長



本堂前での集合写真

本年もまた七月二十六日より三十日の四泊五日の日程で、新聞終身名誉会長のご自坊である東京感通寺様において、第三十回沙弥校・第十六回僧風林が開催されました。
沙弥校生五名(内女子二名) 僧風林生三名の計八名という、昨年よりは少しくない参加ではありましたが、小学三年生から高校三年生と年齢差があるなか、みんながそれぞれの目標を持って、それぞれの役目を果たし、本当に充実したものになりました。

本会の講師スタッフは、経験豊富な方たちばかりです。時には厳しく(本当に厳しいです。見ていて、こちらが逃げ出したくなるくらいです。)時には優しく接し、見事に子供たちの心をつかみます。そして子供たちが立派にこれに慣れてくれるのです。叱られて涙を流す子供もいますが、決して帰りたいとは言いません。「頑張ります」と言ってくれます。次の時間にはビックリする程の大きな声を出

してお経を読むのです。こっそり見に来られていた親御さんが、読経練習の厳しさに大変驚いておられました。暑さと、足の痛さ、喉の痛さと闘いながら読経する子供たちの姿は実に尊いものがあります。子供たちの成長にはいつも本当に驚かされます。こんな短時間によくもあんなにお経が読めるようになるものだと、私はただ感心させられるばかりです。
声明の練習の時もそうです。子供たちは簡単に音程をつかんで上手に唱えるようになりま

よく考えて立てて下さり、嫌いな食べ物も上手く調理して食事に並べてくれました。そのおかげで、子供たちは食事を楽しみ、五日間元気に過ごすことが出来ました。恒例のエクササイズは今さらもう申し上げるまでもなく、本当に子供たちは楽しんでくれました。子供たち同士だけでなく、先生との距離も縮まり、とても有意義な一時を過ごすことができました。毎年このエクササイズにマイククロバスを出して、自ら運転してディズニーランドへ連れて行ってくださる東京の田辺壽昌上人に心より感謝いたしております。
また、今回の沙弥校・僧風林で忘れてはならないことは、建副会長が五日間ご参加ください、「お経を読むなら堀之内」と言われていた時代の読経法、一々文々で独特な調子で読む練習法を、子供たちと講師に伝授して下さったことです。これは大変貴重な体験をさ

六月十五日、和歌山県田辺市安立山本正寺に於いて法燈継承入退寺式が執り行われ、寺院、檀信徒数十名参列のもと、第二十三世青木宏純上人より、第二十四世青木章光上人に法燈が継承された。
法燈継承式において、前任職から新任職に法燈継承の弘子が受け渡され、新任職は奉告文で異体同心、寺檀和融に励み精進すること

和歌山県本正寺聖徒団 法燈継承入退寺式

青木宏純前任職は法騰四十七年。三重県尾鷲市妙長寺住職を務めた後、本正寺に入寺し、以来三十六年にわたり檀信徒教化に力を注ぎ、また、立正幼稚園園長を務める等、寺門興隆にご尽力された。
青木章光新任職は法騰六年。大学卒業後に就職するも、生まれ育った本正寺を思い一念発起し、平成十七年に日蓮宗尼衆宗学林に入り、翌平成十八年に日蓮宗特別信行道場を修了。平成二十四年には霊断師養成講習会を受講し、本正寺歴代で初めての霊断師となった。
前任職は、「女性としての視点もありますし、お檀家さんも私より色々と話しやすい点もあると思います。また、九識靈断法という新しい風を本正寺に入れてくれました。まだまだこれからという気もしますが、今まで支えてもらった分、これからは新任職を支えていこうと思います。」と、新任職への期待を語り、立場が変わっても二人で力を合わせて

寺門を盛り立てていくという決意を新たにされた。
新任職は「本正寺聖徒団团长としてまだまだ未熟者ですが、これからはもっと一人一人と話をしながら、みなさんの悩み、苦しみに寄り添い、少しでも和らげられるよう、力になれる霊断師になりたいです。そのためにまだまだ勉強中です。」と、これからの霊断布教への意欲と情熱を語り、「社会に出た後仏道を目指した私にとって、今までは自分の未熟さに、ただ気付かされてばかりでしたが、これからは住職として皆さんに頼って頂けるように、より一層の精進をして参ります。」と、力強くこれからの抱負と誓いを述べた。

津軽宇田山 間法寺
9月21日 午前11時より
「鬼子母神大祭」
毎月 第2土曜日
午後3時より「唱題修行」
〒030-1403
青森県津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住職 工藤 堯幸
副住職 工藤 堯慎・修徒 工藤 堯顯

妙正寺聖徒団 星 忠克
旭川F.M.R.パールF.M.R.ラジオ
9月21日(日)午前11時より
秋季彼岸会塔婆供養。龍口法難会。
毎月1日午前10時 盛運祈願会
妙正寺聖徒団 团长 関 龍雄
〒071-1423
北海道上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714 FAX 0166(82)2914

美濃乃國 常唱寺 聖徒団
いかにされるよろこび
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

妙頭寺
天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中!
郵便振替
口座番号 00180-6-267327
口座名義 妙頭寺建設委員会
〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myoukenji.jp

日蓮宗霊断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団团长
新聞 智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966



青木章光新任職(左)・青木宏純前任職(右)



大きな声を出して読経練習

# 第30回沙弥校・第16回僧風林開催

## ～小坊主さんの修行～ 7月26日～30日



開講式

### 僧侶としての基礎を学ぶ

七月二十六日から三十日、当会伝統の「第三十回沙弥校・第十六回僧風林」が東京新宿の感通寺(新聞智雄終身名誉会長・御自坊)を会場に四泊五日の日程で開催された。日常生活に法華経・お題目の信仰を取り入れ、少年少女の法器養成教育・次世代を担う人材育成を図った。

先ず本校長先生が「二つの家族のようにお互いを思いやり、皆で五日間健康に気を付けて頑張りましょう」と挨拶され、修行がスタートした。

期間中指導に当たった先生たちは、時には優しく、「お経練習・法式声明・行儀作法」の指導を行い、女性の先生からは「茶道」を体験し、最終日の修了奉告式に臨んだ。次に感想文を紹介する。

### 「足が痛い、喉カラガラ、でもまた来たい」

#### 沙弥校



愛媛県 法華寺 讃岐 陽菜 小学三年生

はじめての沙弥校はとても緊張したけど、兄と姉と一緒にいたからちよつと安心しました。

そして沙弥校一日目、まず最初に校長先生の授業を受けました。仏さまの願い・礼儀作法、とても楽しかったです。

二日目は、岡田先生の授業で他の先生にこう言われました。「岡田先生はとっても怖い先生だよ」でも面白いことをたくさんしてくれて、とても面白かったです。

沙弥校はとても楽しいことが分かったのでまた来年も来たいです。



三重県 追分教会 高鍋 智琉 小学四年生

「スイカが好きになったこと」

二日目の夜にスイカが出ました。二日目の夜はちよつとしか食べられなかったけど、三日目のお昼にまたスイカが出ました。その時は二個のスイカを食べることが出来て、スイカが好きになりました。

授業では岡田先生の日蓮大聖人の話と紙芝居が絵がうまくて、とても面白かったです。

来年もまたよろしくお願ひします。



青森県 蓮華寺 角田 経一 小学五年生

僕は、今年で二回目でした。初日はとても緊張しました。一番辛かった修行は読経です。何故かという声を大きく出さなければならぬからです。



愛媛県 法華寺 讃岐 謹加 小学六年生

二日目は、岡田先生の日蓮大聖人伝で、みんなとても緊張していたのですが、アヒルのかぶり物で登場し、大爆笑してしまいました。それに日蓮大聖人の一生を詳しく記した手作りの紙芝居や、四折問題のマツコデラックスの絵がとても上手でした。

修行の最終日は、長い時間正座をし寿命品を最初から最後まで読みました。とてもきつ、すぐには立つことが出来ませんでした。来年もまた来たいです。



声明の勉強



富安先生(左)・光枝先生(右)

生の声明、新聞先生の読経を特に頑張りました。びっくりしたことは、アヒルの人形をコロコロさせながら登場したことです。男の子とも仲良くできて、きつい時もあったけど、とても楽しい沙弥校でした。来年も来たいと思います。



愛媛県 法華寺 讃岐 英遵 中学二年生

僕は今回の沙弥校は四回目でした。毎年同じように読経練習はとても厳しいものでした。

そして沢山の学ぶことがありました。日蓮大聖人伝や釈尊伝、お茶の入れ方や礼儀作法などを教わりました。

今年の沙弥校は、足が痛くならないようにたまに椅子に座らせてもらえました。女性の先生方が作ってくれたご飯は、とてもおいしかったです。

足も喉も痛くなつたけど、とても充実した日々でした。また来年もしつかり勉強をしようと思つています。



広島県 壽泉寺 根師 宏明 高校一年生

### 僧風林

僕は今回で、沙弥校・僧風林の参加は五回目になりますが、やっぱり声の出しすぎで喉が痛くなりました。

それに正座がとても痛かったです。(誰か僕に、正座をしても痛くならない足を下さい!)と思いましたが、そんな辛いことばかりの僧風林でしたが、学べることもたくさんありました。お経の読み方や声明、食事のマナーや木鉦の叩き方、日蓮大聖人やお釈迦様の事、様々なことを学ぶことが出来た僧風林でした。

女性の先生たちが作ってくれた食事はとてもおいしかったです。



千葉県 本妙寺 若林 亮 高校三年生

僕は二回目の僧風林でした。昨年に続き、二年連続で班長に選ばれました。僕は一回目よりも二回目の方が責任が



茶道を体験



初めての写経



釈尊伝、大聖人伝を学ぶ



奉告式



北海道 本要寺 齋藤 文昭 高校三年生

私は五年ぶりにこの沙弥校・僧風林に参加しました。

今回初めて僧風林としての参加で、最初はとても緊張しました。私は八名の中で最年長であり、班長を務めました。

しかし二日目までは、まだその自覚がなく、みんなを一つにまとめることが出来ませんでした。そのため先生方からは、たくさんのご注意を受けましたが、その中で大切なことを学ぶことができました。

すなわち「二人でも気が緩んでいると、それは八名全員の責任、連帯責任である」ということです。最初は自分の事で精一杯でしたが、修行が進むに連れ視野が広がり、周りの事を気にすることが出来るようになりました。「一人はみんなの為に、みんなは一人の為に」という大切な言葉の意味を実感することが出来ました。

また、読経では、先生方に腹式呼吸を習い、お腹から声を出す事の大切さを学

### 身延大会に行ってきました!

その3



北海道妙正寺聖徒団

佐藤チエ子さん(左)、相川かよ子さん(右)

足腰痛いけど、来れるうちは身延大会に参加しようと思ひます。北海道からは遠いので、ずいぶん迷ったのですが、今年行かなかつたらずと行けなくなると思ひ、関団長上人と奥様、みんなに励まされて参加することが出来ました。本当に多くの感動があり、来てよかったと思ひます。

来年の五十回記念大会も参加できるように、これから健康に気を付けたいと思ひます。

青森県道円寺聖徒団

一日伝道「感謝の大切さ」

六月十九日、青森県つがる市道円寺聖徒団(飛鳥玄龍団長)に於いて春季大祭が行われ、本部講師・加藤知宏師による一日伝道が開催された。



加藤知宏講師(本部講師)による「一日伝道」

一度も絶えることなく繋いで下さった自分の命に気付かされます。命や魂の繋がりを、我々僧侶と聖徒のみんなで伝えていくことが大切であり、使命ですよ。」と優しい口調で語られた。

また、体験談を交えて「感謝の大切さ」を説かれ、聖徒の方々は目を輝かせ、講師のお話に聴き入った。

加藤講師は最後に、「あの時、あんなにしてあげたのに」という気持ちは忘れて、おかげさまの感謝の気持ちをもって、共にお題目を唱えて行きましょう」と結ばれ、実り多き春季大祭となった。

青森県通信員 山田瀧仙

よろこびちゃん 質問箱



よろこびちゃん

「お萩」と「ぼた餅」の違いってなに? お萩とぼた餅は呼び名が違うから、別の物だと思ってしまうけれど、実は同じ食べ物なのよ。

ぼた餅は「牡丹餅」とも書かれ、牡丹の季節の呼び名で、お萩はその名のとおり萩の季節の呼び名なのよ。

春と秋、季節にちなんで名前を呼び分けるのは、豊かな四季のある日本ならではのことね。とっても風情があるわね。

お彼岸には、なぜお萩を供えるの? お彼岸にはお萩やぼた餅を供える習慣があるわね。何故お彼岸にこれらを供えるのかというと、大豆の赤色には災難から身を守る効果があると信じられていて、邪気



第三十七回 日蓮大聖人の歩まれた道

比叡山を目指して



靈断院教学部長 小泉 輝泰

「所詮肝要を知る身とならばやと思し故に、随分にはしりまはり、二十六年の年より三十二に至るまで二十余年が間、鎌倉・京・叡山・園城寺・高野・天王寺等の国々寺々あらあらず回り候し程に」(妙法比丘尼御返事)

ずと知れた比叡山は延暦七(七八八)年、伝教大師最澄によって開かれた日本天台宗の中心となる大寺院で、大聖人留学時代には壮大な伽藍の中で数千の学徒が佛法を学んでいたとされています。



またこの山にて学ぶのみならず、受戒を受け正式な僧侶として認められることが、当時の学徒たちの憧れでした。鎌倉より戻られて直ぐに『戒体即身成佛義』を記された蓮長も、やはり延暦寺での受戒に心惹かれるものがあつたやもしれません。

更に遠国となる近江国、しかも当代随一の学問所である比叡山延暦寺です。今一度確認を致しますが、片海(かたうみ)の海女が子である筈の蓮長が、何をどうすればこんなに自由に諸国を遊学して歩けるのでしょうか。学費や旅費の工面もさることながら、京から見れば「東男」と馬鹿にされる東国(しかも安房は鎌倉よりもっと東の外れです)の田舎坊主が、比叡山に受け入れて貰うには、何らかの後ろ盾があつたのことも考えるのが、やはり自然なのかも知れません。



といえは正しいのでしょうか。

③ジーザス! (巡査部長ニール・ハウイー)



黒田孝高

法華経のお話 35

無量義経の段



靈断院主任

塩入幹丈

大轉輪王小轉輪王。金輪銀輪諸轉輪王。(無量義経徳行品第一)

①あれこそ、我等切支丹の怨念の火。そして、徳川の最期を弔う火だ。見ろ、よく見ろ、見ぬか家綱(天草四郎時貞)「光市母子殺人事件の容疑者は『魔界転生』に倣って、被害者を蘇生しようとしていた...」

など偉い先生たちが真面目に主張されていた時は、「魔界転生(※)なら蘇生するのだから、疑者の方だろ」と呆れたのも今は昔。そうは



魔界転生

言っても、魔界衆の再生方法と言え、原作に登場の軍師森宋意軒によるクロウンのような物理的再生よりも、映画版の切支丹凶徒首魁天草四郎時貞(ジューリー!)による黒魔術式の再生の方が、広く世に知られるところでしょう。そうです。その黒魔術の呪文こそ「エロイム エッサイム 我は求め訴えたり」。

あの「悪魔くん」でもお馴染みのこの呪文こそが、賢者ソロモン王が唱えたとされる悪魔召喚のキーワードだと、中世欧羅巴にてもまことしやかに言いつたやろ。中世の時代から、あまりにも隔たつてはいますが...。

②では、この理想の戦いは、まだ続くのですか? (佐藤)そうじゃ、地上天国が来るまではやめられん(蛙男) 黒い鶏を生贄にして唱えられたというこの呪文。「エロイム エッサイム」とは、さぞや禍々しい意味が込められてるんだらうと、ビビってしまいがちですが、あんなにからんや、実はこの呪文の意味は「神よ、燃え盛る炎の神よ」。そう、この呪文こそは神様、即ちあの天地創造、アダムとイブ、カインとアベル、ノアの箱舟、そしてパベルの塔等のユダヤの神話にて語られる、ついにエジプトの地にて、預言者モーゼの前に燃え盛る紅蓮の炎となつて顕現した唯一神「Y・H・W・H」の名を唱え讃えた言葉なんです。勿論、この四文字だけでは母音がありませんから、当然ながら発音できません。だからこそ、古くはエホバ説、最近ではヤーウエ説と、その呼び方がいろいろ説かれてきたわけです。むろん、どれも断言できるものではありません。以前お話ししたように、これも言わば実名禁忌の一種。信長様とか秀吉様とか、他人が気安く言っちゃいけないと言ふあれですね。その点、黒田孝高を「官兵衛! 官兵衛!」と呼んでるのは、まあ正しいを博している。

『初めての盛運祈願会』  
宮崎県日向市 本光寺聖徒団



吉良貴徳団長

六月一日、宮崎県日向市にある本光寺聖徒団(吉良貴徳団長)では開山以来、初めての盛運祈願会が開催された。同団長は昨年六月に霊断師養成講習会を受講し、霊断師になったばかりである。また当山の副住職であるため、盛運祈願会の行事を行うのには、約一年間の下準備を経て無事今日の開催に至った。準備期間中の一年間は法事やお盆経廻り等の時に『俱生神月守』を授与していたが、「毎月交換にえられる方は何名かおられたが、着帯者が増える事は難しく、なかなか盛運祈願会の開催にはつながらませんでした」と吉良団長は言う。

そんな中転機になったのは、宮崎県延岡市本東寺聖徒団団長・日蓮宗参与 吉田海心僧正から「毎月二日に開催する盛運祈願会を手伝ってくれないか」という法要出仕の声をかけて頂いたこと。

「本東寺さまにお邪魔をし、法要前に半鐘を打ちに本堂に入った瞬間、私はものすごい光景を目の当たりにしました。お通夜やお葬式でもないのに本堂には百名近い参拝者がおられ、さらに老若男女問わず、様々な年代の方々が団扇太鼓を持ち『よろこび』を読まれながら、十時からの祈願会開式を今か今かと待たれていたのです。」

また、本堂には宗派を越えて参拝されている聖徒が大勢居て、私達各上人と同じくらい大きな声でお経・お題目を唱えられ、本堂内外に響いていました。私は今までお寺にお葬式や法事など暗いイメージを持っていましたが、盛運祈願会にお手伝いに行かせて頂き、大きな感動と興奮を覚えました。」

吉良団長は、「この大きな感動、興奮を本光寺聖徒団にも」と願い、霊断師会の先輩上人から様々なアドバイスを頂きながら開催の準備を進め、いよいよ六月一日、本光寺開山以来、初めての盛運祈願会を開催し、約十五名の檀信徒の方々が参拝されたのだった。

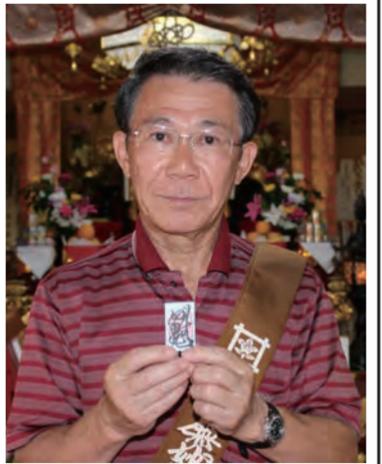


盛運祈願会の模様

「外説法に内法事」というアドバイスを受け、本東寺聖徒団副団長・九州教区長 吉田静正上人にお願ひし、聖徒みんなでお経を読み、お題目を唱えた後、力強い修法加持祈禱と、法要後のご法話を頂いた。

「お題目によって今があり、『俱生神月守』を着帯する事で、これから生きていく中で神秘的な力によって守って頂ける」との自身の体験談を交えた法話は参拝者の心を打った。吉田静正上人は、法話の結びに『俱生神月守』はご先祖様・家族・親族みんなを繋いでくれる力がある。先月は有難う御座ましたという感謝の気持ちを持ち、今月も家族・親族みんなが楽しく元気に過ごせますようにと祈り、新しい『俱生神月守』と交換する事が大切である」と、お話をされた。

本光寺総代の河野政志さんは七月祈願会の際、「八月より始まった毎月一日の盛運祈願会に参拝して二回目です。先ずお釈迦様や日蓮大聖人様、ご先祖様にお題目を唱えて供養をした後、お上人に『俱生神月守』の修法祈禱をして頂きました。頭、肩や背中を祈禱しながら被って貰うと、何故か身体が軽くなって心がスッとなりました。これは私だけでは無かったようです。二ヶ月以上通院しても治らず諦めていた肩が、最近かなり良くなりました。これも『俱生神月守』の御加護、御祈禱のお陰です。法要後はご法話が有りますが、聴かないと損をしているかもしれません。皆さんも一度参拝



本光寺総代の河野政志さん

「今日、たくさんの方々とお唱えしたお題目は何十倍何百倍の力になり、心の底から力が湧いてきました。また来月も必ず参拝します」と感動を語られた。

初めての祈願会を終えた吉良団長は、「日蓮宗僧侶の使命はお題目を弘めること。そう頭では理解をしていますが、中々行動に移す勇気が持てず、布教活動に自信が持てなかった時期もありました。しかし、先輩上人から九識靈断法を勧められ、養成講習会を受講し、今日では悩みを持った方々が来寺されても自信を持ち、寿量御本佛様、お祖師様、俱生神様を通して、御指導をさせて頂いています。まだまだ霊断師としては新米ですが、霊断師会の先輩上人方の力をお借りして、盛運祈願会を通して、一人でも多くの方がお題目に出逢うきっかけとしていきます。」

そして九識靈断法により、本光寺の檀信徒の方々に始め、地域の方、ご縁を頂いた多くの方々の悩みを解決し、お題目と『俱生神月守』の神秘性と御利益を弘めていきます。

今年初めての日蓮宗大荒行堂に入行し、本光寺聖徒の為に、もつともつと力をつけ、命あるかぎり祖願達成に向け全力で努力していきたいと思えます」と、キラキラした眼差しで話してくれた。

取材をした私自身が初心に戻ることに出来た、本光寺聖徒団初めての祈願会でありました。

(宮崎・鹿児島・沖縄 通信員 吉田憲由)

来年の「身延大会」は第五十回記念大会!!  
五月二十三日(土)・二十四日(日)に決定。

本誌イラスト 小川けんいち



例年五月の身延大会(第五十回記念大会)に参加を予定する聖徒団の皆様は、宿泊先である宿坊・旅館等に早いうちに宿泊予約をお願いします(聖徒数は、今のところおおよそで良い)。

宿泊先を特定出来ない聖徒団の皆様は、あらかじめ『日蓮宗霊断師会・九段事務所』までお問い合わせ下さい。

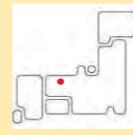
来年の身延大会(第五十回記念大会)に参加を予定する聖徒団の皆様は、宿泊先である宿坊・旅館等に早いうちに宿泊予約をお願いします(聖徒数は、今のところおおよそで良い)。

宿泊先を特定出来ない聖徒団の皆様は、あらかじめ『日蓮宗霊断師会・九段事務所』までお問い合わせ下さい。

全国のよろこびちゃん vol.4



高橋 未来ちゃん  
平成25年2月21日生まれ



島根県出雲市  
法恩寺聖徒団

元気に保育所に通っています!  
大好きなのは、アンパンマンとお味噌汁。  
人見知りの未来ちゃんだけど、少しずつ言葉も覚えてきて、これからたくさんのお友達ができますように!

全国のよろこびちゃんを募集しています!

砥森山  
法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀  
副住職 阿部 是眞

〒028-0304  
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1  
電話 0198-67-3166  
FAX 0198-67-2227

安房乃國隨一  
三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団  
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」  
〒295-0002  
千葉県南房総市千倉町川合690-1  
TEL 0470-44-1062  
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻  
内陣荘厳具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12  
電話 03 (3843) 6951  
FAX 03 (3843) 6973  
定休日 日曜日

快適な居住空間と充実したサービスで安心な毎日をお届けします。  
4タイプのライフスタイル  
有料老人ホーム さくらグループ

介護付有料老人ホーム「さくら旭川」

Aタイプ  
■住宅型有料老人ホーム「さくら豊岡」  
旭川市豊岡4条5丁目2-2  
TEL 0166-38-6206

Bタイプ  
■住宅型有料老人ホーム「さくら西町」  
旭川市7条西4丁目2356-2  
TEL 0166-21-3131

Cタイプ  
■住宅型有料老人ホーム「さくら春光」  
旭川市春光街12番2  
旭川市春光街12番2  
TEL 0166-50-1627

Dタイプ  
■住宅型有料老人ホーム「さくら新町」  
旭川市6条西3丁目1485  
旭川市6条西3丁目1485  
TEL 0166-27-7001

■住宅型有料老人ホーム「さくら東」  
旭川市豊岡7条4丁目1-6  
TEL 0166-74-6126

■住宅型有料老人ホーム「さくら南」  
旭川市南1条通21丁目1974-6  
旭川市南1条通21丁目1974-6  
TEL 0166-78-8755

■介護付有料老人ホーム「さくら旭川」  
旭川市4条通22丁目1721-64  
旭川市4条通22丁目1721-64  
TEL 0166-30-0880

株式会社 旭川グループケア  
北海道旭川市5条通13丁目64(旭川) TEL 0166-26-6640  
URL: http://house-sakura.com / mail: post@house-sakura.com

正蓮寺

日蓮宗霊断師会 副会長  
日蓮宗宗議員  
正蓮寺聖徒団 団長  
大塩 孝信

〒290-0151 千葉県市原市瀬又134-1  
TEL 0436-52-0207  
FAX 0436-52-2288